



# 拓北・あいの里地区社協ミニ通信

拓北・あいの里地区社会福祉協議会

会長：渡邊 寛 広報部長：森下 満

この広報紙は赤い羽根共同募金の支援を受けています

10月特別号

令和 5年 10月 11日

**地域ケア部の活動状況と  
今後の予定についてご報告します。**



10月特別号だよ！

## ■ 地域ケア部より ■

9月例会は19日(火)18:30-20:00、地区センター2階集会室にて、スウェーデン研究者、民生委員児童委員・渡辺まどか(わたなべ・まどか)さんをゲストに、「スウェーデンのコロナ対策の事実～国民の信頼を資産に～」をテーマに話題提供をいただき、意見交換を行いました。地区センターでの対面とオンラインでのハイブリッド方式で行われ、参加者は地区センター17名、オンライン1名、合計18名。

スウェーデンのコロナ対策の特徴は、①専門家からのアドバイスに大きく依拠し、政策決定は知識やエビデンス(証拠、根拠)に基づく、②公衆衛生庁が指揮をとることが定められており、同庁は政府から独立した立場で、政府の圧力を受けることが少ない、③子どもの権利を非常に大切にしていること等です。

欧州諸国の中で唯一、厳格なロックダウンをせず、一部ロックダウンだった理由は、集団免疫を付けるため(誤報、誤解)ではなく、長期戦を見越し、持続可能性を重視したこと、また、移動の自由、公的機関の独立性、地方自治体の自治、の保障が憲法に規定されていたことによります。

初動の遅れなどにより初期に死亡者が多かったものの、2020～2022年の3年間全体としては、累計超過死亡(超過死亡とは、特定の母集団の死亡率が一時的に増加し、本来想定される死亡率の取りうる値を超過した割合のこと、通常、感染症-新型コロナ、インフルエンザなど、異常気象、災害、戦争などによって引き起こされる)が欧州で最も低い。スウェーデンのコロナ対策は欧州などで高く評価されています。それは国民の、政府や公衆衛生庁への信頼が高かったことにより推奨や一部ロックダウンがうまく機能したからと言われています。

このようなスウェーデンの成功についてはわが国では報道が未だありません(英国などでは大々的に報道)が、厳格なロックダウンがなかったわが国においても信頼獲得方法など、学べる点は少なくないと思われます。



地区センター17名、オンライン1名、合計18名が参加した、9月19日の地域ケア部の9月例会



国民の信頼を資産とするスウェーデンのコロナ対策の成功事例について学びました

## ◇ 次回例会のご案内 ◇

10月例会は17日(火)18:30-20:00、地区センター2階集会室にて、有料老人ホームらくら拓北耆番館施設長の南畑充宏(みなみはた・あつひろ)さんをゲストに、「有料老人ホームをご存知ですか？」をテーマに話題提供をいただき、意見交換を行う予定です。

地区センターでの対面とオンラインでのハイブリッド方式で行います。来場できないがオンラインで参加の方にはZoomアクセス情報をお知らせします。その他の方はケア施設町内会事務局・長谷川までメール hasepy55@gmail.com でお問合せ下さい。